

授業科目名・形態	生活支援技術論Ⅱ 講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	今野 修・水木 暢子	実務経験の有無	有	開講期	1年後期

【授業の主題】

利用者の生活を支える介護実践と、人間の心理や人体の構造と機能との関連を学んでいく。また、終末期の心身の変化が及ぼす利用者への影響や、人生の最終段階にある利用者とその家族を支援するための生活支援を行うために必要な基礎的知識を学んでいく。

【到達目標】

- 1) 生活支援を行う際に必要となる知識として、生活支援の場面に応じた、こころとからだのしくみ及び機能低下や障害が、利用者の生活に及ぼす影響について理解できる。
- 2) 終末期の心身の変化が生活に及ぼす影響を踏まえ、終末期にある利用者とその家族への生活支援を行うために必要な知識を理解できる。

【授業計画・内容】

- 第1回 入浴・清潔保持のしくみ（今野）
- 第2回 入浴・清潔保持に関連した心身の機能低下が及ぼす影響（今野）
- 第3回 入浴・清潔保持に関連した変化への気づきと対応（今野）
- 第4回 排泄のしくみ（今野）
- 第5回 排泄に関連した心身の機能低下が及ぼす影響（今野）
- 第6回 排泄の変化への気づきと対応（今野）
- 第7回 休息・睡眠のしくみ（今野）
- 第8回 休息・睡眠に関連した心身の機能低下が及ぼす影響（今野）
- 第9回 休息・睡眠の変化への気づきと対応（今野）
- 第10回 人生の最終段階に関する「死」のとりえ方①（水木）
- 第11回 人生の最終段階に関する「死」のとりえ方②（水木）
- 第12回 「死」に対するこころの理解（水木）
- 第13回 終末期から危篤状態、死後のからだの理解（水木）
- 第14回 終末期における医療職との連携（水木）
- 第15回 まとめ（今野、水木）

【授業実施方法】

講義形式で行う。

【授業準備】

教科書を事前に確認し、わからない語句などは専門書や辞典などで調べておくこと。

【主な関連する科目】

心理学、生命科学、医学概論、エイジング論、高齢者と健康、日常生活技術演習Ⅴ・Ⅵ・Ⅷ・Ⅹ

【教科書等】

介護福祉士養成講座編集委員会：最新介護福祉士養成講座 11 心とからだのしくみ 第2版，2022.

【参考文献】

秋山昌江，白井孝子：からだからケアがわかる本 新刊 しゅみ・変化・ケアのポイント，中央法規出版，2021.

【成績評価方法】

筆記試験 80%、課題レポート提出物 10%、演習への取り組み等 10%により総合的に評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

病院等で多くの高齢者への看護の経験を積んできました。その経験を生かして、医療職と連携して介護福祉士の専門性が発揮できるための様々な学びを一緒に行っていきたいと思います。

【学生へのメッセージ】

介護と医療の連携を踏まえての介護実践力の向上には、根拠に基づいた実践に関する理論を学んでいく必要があります。また、介護を受ける側に立った死生観についても、一緒に考えていきましょう。